

期間限定無料キャンペーン
(2023年3月末まで)



お客様のAI開発・運用環境の改善ポイントを診断する 「AI基盤簡易アセスメントキャンペーン」

現在お客様がお使いのAI開発環境について、
分析、改善策の提示を無償で実施いたします

AI開発や運用を行っている基盤において、このような課題やご要望はありませんか？

- AIの開発が膨大な手作業の連続で、現場の負担になっている
- AI開発や運用のライフサイクル全体で、どこに課題があるのか明確にしたい
- MLOpsをどう適用すればいいのか、専門家の意見を聞いてみたい



AI基盤簡易アセスメントキャンペーンをご活用ください

AI基盤簡易アセスメントキャンペーン概要

お客様のAI開発環境についてのヒアリング結果をもとに、「MLOps」※1の考え方を適用することで、その課題が解決可能か、分析・評価しご報告します

(※1) MLOpsとは、AIの開発と運用を統合し、機械学習における一連のライフサイクルを管理をする手法です。MLOpsを取り入れることで、お客様のAI開発の生産性・活用スピードが向上いたします。



本アセスメントキャンペーンの利用について、担当営業へご連絡ください。

担当営業が送付したヒアリングシートにアセスメント対象に関する情報をご記入いただき、ご返送をお願いします。

いただいた情報を元に、AIエキスパートが、お客様環境について、分析・評価いたします。

アセスメント結果および課題解決策をご報告いたします。

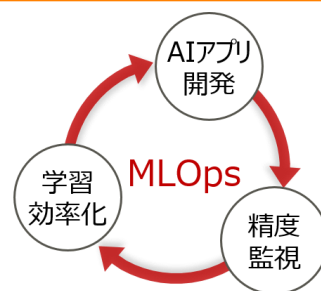
AI基盤簡易アセスメントキャンペーン詳細

■ 対象環境

- ✓ AI開発や運用を行っている基盤（オンプレ、クラウドとのハイブリッド）

■ 調査内容・方法

- ✓ 対象環境に関する以下の情報のご提供をお願いいたします。
 - ・ インフラ環境構成（サーバ、OS、コンテナ管理 など）
 - ・ AIライフサイクル管理状況（ワークフロー管理、インフラ監視、モデル開発管理 など）



■ 分析・評価結果のご報告

- ✓ 対象環境の分析・評価を実施いたします。
- ✓ 分析結果を元に、MLOps観点での改善策をご報告いたします。

■ キャンペーン期間：2023年3月末お申込み分まで

AI基盤簡易アセスメント結果ご報告書イメージ

評価結果

評価項目	評価結果	コメント
コンテナの管理	黄色	AIの開発においてもコンテナの活用が広がっています。コンテナを分離された開発環境が提供でき、その開発環境のメンテナンス効率化が期待されています。
ワークフローの管理	黄色	手作業に伴うタスクの記録・処理のミスや、複雑なワークフローの可視化が課題です。統一された記録でのタスク処理とパイプラインによるワークフローの自動化が期待されています。
インフラの監視	緑色	適切なインフラ監視環境を構築できています。監視ツールの活用が期待されています。
モデル開発の管理	緑色	適切なモデル開発の管理環境を構築できています。管理ツールの活用が期待されています。
ハイパーパラメータの調整	緑色	ハイパーパラメータの調整ツールとして適切です。調整ツールの活用が期待されています。
AIアプリ開発への反映	緑色	適切なモデル開発の管理環境を構築できています。お困りの点で別の確認が必要な場合は、詳細アセスメントも可能です。
推論精度の監視	緑色	適切な推論精度の監視環境を構築できています。環境の活用が期待されています。

現在ご利用の環境は、MLOpsの考え方を適用することで、評価7項目中、2項目に改善できる可能性があります。【ワークフローの管理】の作業を減らすことで、本来のAI開発業務に専念することができます。

コンテナの管理

現状: コンテナ管理 Docker

分析結果

Dockerによってコンテナの利用は出来ていますが、手動で多数のコンテナを管理しています。今後AI開発/運用を続けるにあたり、コンテナ管理は煩雑になり、サーバーリソースを有効に利用することができなくなる可能性があります。コンテナの管理を自動化することで、コンテナ利用者に最適なリソースの割り当てができるようになります。この管理の自動化のために、kubernetesによるコンテナ管理基盤の導入をご検討ください。

コンテナ基盤導入のイメージ

クラウドからGPUリソースを指定して自動的にコンテナを配備

サーバー放散時には、自動的に新規コンテナが起動

※本アセスメントは、提供いただいた情報を元に机上検討するものです。実際の課題解決を保証するものではありません。

AI基盤サービス

より詳しい分析や、課題解決策を実現したいお客様向けに、AI基盤サービス(AI基盤導入支援サービスおよびAI基盤運用支援サービス)をご提供しております。詳しくは、担当営業までご連絡ください。

AI基盤の企画・導入 (初期・バージョンアップ)

AI基盤導入支援サービス

設計サービス

構築サービス

性能診断サービス

AI基盤の運用

AI基盤運用支援サービス

トラブル対応サービス

技術支援サービス

※AI基盤サービスの価格は個別見積りとなります。

個別見積り例：AI基盤導入支援サービスによるGPUドライバー/AI学習用フレームワークのインストール 30万円～
AI基盤導入支援サービスによるGPUリソース管理の導入 300万円～
AI基盤運用支援サービスによる運用に関するQ&A対応 年間600万円～

お問い合わせ先

富士通コンタクトライン（総合窓口） 0120-933-200

受付時間 平日9時～12時および13時～17時30分（土曜・日曜・祝日・当社指定の休業日を除く）

富士通株式会社 〒105-7123 東京都港区東新橋1-5-2 汐留シティセンター